

雨戸が開いていたら いつでもどうぞ ミニデイサービス 本町会場・サテライトサロン

桜の季節がだんだん早まってきて、“入学式と花吹雪”は昔のこととなってしまいました。コロナでの制約から、かなりのことが解放されて、リスクの大きな高齢者との行事等で緊張の運営の日々でしたが、少し気持ちが落ち着きました。間隙を縫うように実施した諸事業は、目標達成して参加された方々と共感することも多く、次年度につなぐヒントも得ることができました。役員への努力も大きく、多忙さに、押しつぶされそうになりながらも、事故もなく継承への歩を前進できています。

会員・寄付者・ボランティアの方々も増え、基盤整備を確かにと、役員会で真剣に討議されました。

絵を通じての友好

3年振り日本のフレッシュ作品展示・ペナン州
日本にもマレーシア作品到着、新学期に各校へお届け



分かってきたので楽しい！



3年間渡航できなかったために、日本の小学校から多くの作品をお預かりしていながら、マレーシアの児童たちに直接お見せすることが叶わなかった。初めてEMS便活用でペナン教育局へ送った。25校分ということで、5つの地方教育事務所へ託され、迅速な対応で25校に校内展示され、児童たちがしっかり鑑賞している。3月初旬には25校から提供された作品が、メイあさかセンターに届いた。翻訳・簡易装丁後、各学校へお届けする。3年ぶりのフレッシュ作品に、継続しようとする熱意を感じ、関係者へ感謝の日々である。

6月から2月までの長期間取り組んだスマホ教室は、ミニデイサービスらしく楽しく話し合える雰囲気醸成されて、充実の学びの場となった。

3年度が始まるまでの期間は復習会を実施している。反復する中で、スマホを身近に置いて便利さを享受されたり、出先での写真撮影に、普段無意識だった景色が一段と美しく見えるなど、生活に一呼吸ゆとりができた方もいる。

今回も地域包括支援センター6圏域のご協力で、ZOOMで質問などもでき、無関心だった「地域包括支援センター」がとても重要な機関として認識されたことは大きな実績となった。いつも分かりやすくご説明いただく職員の方々に感謝の一年だった。

2月26日(日) 在京マレーシア大使館より、モハammad ジェフリー ジョー メイヤー書記官をお招きして「マレーシアの多文化共生=多様性は発展の力」と題してご講義いただいた。44名の参加があり、充足の時間を共有できた。



発行 認定・埼玉県指定 特定非営利活動法人メイあさかセンター (MAY Asaka Center)
住所 〒351-0011 埼玉県朝霞市本町2-7-17 ☎048-468-6972 Fax 048-468-7088
URL <http://www.mayasaka.net> E-mail mayasaka@mayasaka.net
会費・カンパ振込 郵便振込 00130-9-114311 特定非営利活動法人メイあさかセンター
埼玉りそな銀行朝霞支店(普) 3954671トクティヒエイリカツドウホウジンメイアサカセンター

このニュースレターは、(株) タック様のご支援を頂いて印刷しています。

市民企画講座 多文化共生を学ぶ・マレーシアの児童画を見て



日程・時間	学習内容	講師・助言者等
1月22日(日) 13:30~15:30	1. 多民族国家の母語教育 2. 食生活・多言語生活 3. 「国際友好賞状」 4. 「絵を通じての友好」の始まり	尾池敏之 瀧井龍馬 鷹野早智子 尾池富美子
2月4日(土) 13:30~15:30	1. マレーシア教師対象セミナー & ワークショップ・・・11年間マ レーシア各地巡回の経験 2. 人物交流&ホームステイム	中村美恵子 尾池富美子
2月26日(日) 13:00~16:00	1. 多様性は発展の力 2. 日本文化紹介 3. 絵を通じての友好35年のあ ゆみ(ボランティアの熱意) ①多様な仕事をこなしながら ②工夫工夫の連続で ③30周年事業展覧会や釜石復 興支援事業展覧会他	・MD..ジェフリー ジョー メイヤー 在京マレーシア大使館二等 書記官 ・十文字大学 国際交流センター学生 尾池富美子 広重ウタ子 長谷川宣子 遠藤 光博

企画を立てた時期とかなり離れた実施となった。途中で、マレーシアから来日予定の大学生文化交流団の受け入れを、マレーシア大使館広報部より打診された。十文字大学国際交流センターへ協力依頼した。結果、学年末休みにも関わらず、工夫されて学生の派遣を快諾頂いた。生憎、マレーシアからは直前渡航中止の報があったが、十文字大学さんは講座に役割を果たされた。弊法人会員・役員も内容を精査しながら、多くの方に理解して頂く努力をした。

1月19日(日) 小さな集い

社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会歳末援護金配分事業
ミニデイサービス本町会場の移動月例会は、まだまだ寒さ厳しい中での実施だった。この例会を、打楽器演奏と歌(パ・タ・カ・ラ)での介護予防活動として市民に公開した。市民が複数名にこやかに参加。なんと、この日は思いがけず『フォルクローレ』を楽しむ会ともなった。メンバーの義兄東出五国様がご夫妻で参加され、中南米音楽の普及活動草創期の第一人者がボンチョを着てケーナ演奏をプレゼントしてくださった。メンバーがアルファを演奏。思いがけず体験会が盛り上がった。

療育音楽を楽しむ会

第16回みんな集合！音楽で一日楽しく遊ぼう！を有観客で、3年ぶりに実施した。南西部消防音楽隊の熱演も、市民吹奏楽団の有志の演奏も、私たちにとって励ましとなり、観客と一緒に良い演奏に繋がった。

1月例会には、第17回(12月24日予定)に向けて各グループが月例会で演奏していく曲候補を持ち寄った。12月の充実がそのままに、例年になく、たくさんの希望が出た。2月例会で絞込み、3月例会から持ち分・担当を決めて練習がスタート！全員参加方式の実行委員会もスタートした。一人でも多くのメンバーの希望が叶うようにという思いを込めて、昨年度から採用して成功した方式である。

最年少のR君は、「今年は役割も担いたい。」という目標を持った。先輩たちが担ってきた「名札回収」を2月例会から始めている。30人分って結構な運動量だし、責任もあるが、みなさん、にこにこ手渡して入れ物がいっぱいになるので、役割を果たしている。

1月例会で



◎ 楽器運搬は大仕事である。ボランティアで搬出・搬入・収納は、森本さんと倉田さん。往路は車で佐々木氏、復路は演奏後に、会員と保護者4名が頑張ってください。上記の写真のようにたくさんの楽器を維持して行くには、取り扱いの優しさ・保管の気遣い・補修と保護袋やベルトの手作りなどと、多くの人々の心意気が財産である。演奏しているときに会心の音色に出会った笑顔は、共通の喜びに変わり、次への原動力となる。いつでも新人歓迎！見学体験を！

KOE 声

1992年NPO法人の前身メイ（MAY）文庫時代に、編集委員が、一人でも多く、会員の声を広く知っていきたい・知らせたいと企画したコーナーのロゴです。最近、幣法人に多くの方が、お声を寄せてくださいます。SDGsの目標＝誰一人取り残すことのない・を心しての活動に賛同の声を頂き、ふっと「ロゴを復活！」と思いつきました。充実した前進のために、いろいろご意見・ご指導・新規事業へのアイデアなどお寄せくださいますようお願いいたします。……第2回

少しずつ、少しずつ分かってきました。スマホ教室の都度、生活の中に、外向きの広がりが出てくるんだね！覚えていきます。ゆっくりですが、よろしく願いいたします。……今日は友達を連れてきました。と、82歳の友人をお連れになりました。

(70歳女性)

多文化共生プログラム「市民企画講座」世代間交流「もの作り体験教室」などの設営にボランティア参加して、メイあさかセンターが標榜している『世代を超えて＝朝霞から世界へ 世界から朝霞へ 生涯学習でいきいきと』という内容だと実感しました。先輩の方々が気持ちよく受け入れてくださったおかげで、私自身が元気を戴きました。(48歳 女性)

市民活動まつりに参画



第13回あさか市民活動まつりが、2月11日（土曜日）10時～15時に、朝霞市コミュニティセンター＆中央公民館を会場に開催された。前日の雪の日に参加団体が会議し「実施するか・中止にするか」を話し合った。連絡の取りようがないので参加者が少なくとも実施という結論で当日を迎えた。天候に恵まれて450名の参加を得ることができた。

幣法人は、実行委員として委員会にも出席し続けて方向性を討議してきた。当日は、諸活動のスナップや成果を展示、手作り品などの販売。プロジェクター使用し、パワーポイント編集画像で活動紹介をした。理事にとっても学びの場となった。

小さな美術館

サテライトサロンに、マレーシアの児童が作品を常時展示している。通所者も事業参加者も物品購入者も折々に楽しんでいる。1月末に展示替えをしたので、ぜひご覧いただきたい。パソコンレッスン・脳活英語教室の方々、さらに、スマホ教室の方々も明るい色彩のマレーシア作品に応援していただいて、癒されながら学習している。

朝早くから来てすみません！ここでする内容がとっても楽しいので、ついつい家を早くからでかけてしまうので！ミニデイサービスの手作り品っていろいろあるんで覚えるのも大変ですが、みんなでするのが楽しいです。ボランティアの方々が「いい作品に仕立ててくれるから！」。(72歳女性)

……と言いながら、実際には、得意分野を發揮して、コツコツと繰り返し・上手に・たくさん作れるようになった。90歳・91歳そして80代のみなさんと笑顔で会話も弾み、場を和ませてくださっていることに感謝。要支援1で、デイサービスも視野に入れられたご家族が、ご本人の意思を尊重して、幣法人とご連絡取り合いミニデイサービスに連日通所されている。

介護者サロン（ほっとの会） 4月定例会

設立時から幣法人からも代表及び副代表が世話人として参画している（ほっとの会）定例会が、弁財市民センター会議室を会場に、13日開催された。幸先よく、新参加者2名を得てスタート。地域包括支援センターあさか中央様・つつじの郷様からと、僅か90分の集いながら、ケアラー自身が本音で話せる貴重な場を、森田代表と共に朝霞に定着する担い手として努力をしていきたい。

絵を通じての友好 70回交換交流準備



新型コロナウイルスの猛威から、様々な変更を余儀なくされてきた『絵を通じての友好』プログラムだったが、両国の関係者の努力で、徐々に復活してきている。しかも作業内容なども工夫を重ね、新しい機器の活用で効率も考慮している。作品の写真撮りも、水平に置いて……。マレーシアへのお届け先選定時には、中村理事から各学年毎の作品について、授業のねらいや技法などの説明を伺い充実した時間だった。マレーシアの展覧会会場などでの質問に応じ易くなった。大切に保管して、翻訳やネームカード作成・台紙貼りなどを済ませて、マレーシアへお届けする時期を待つ。

定期総会 第23回 ご案内

厳しかった変則的な活動ながら、ゆっくりずむが功を奏して成果を遺せたと思います。継承のための内容吟味も併せて歩んだこの一年の報告と検証。次年度そして50年続ける夢を描ける総会を開催したいと思います。

日時 6月18日(日) 13:30

会場 朝霞市中央公民館

なお、暫くぶりで、総会後に交流会も予定しています。今年度に会員も増えていきますし、さらに増やすためにも、マスクを外してお互いを知って、お顔馴染みになり、活動の原動力に！

ミニサービス

朝霞市単独の高齢者介護予防活動補助金事業で、生涯学習・生きがいづくりを唱っての通所事業は、幣法人が提唱する「生涯学習でいきいき」と合致したものである。プログラム運営にはさらなる経済的基盤が必要。プログラム内容の向上と参加者増が基本なので、みなさんからのアイデアを募集中。本町会場・サテライトサロンそれぞれに特徴づけたいと思う。

絵を通しての友好

やっと、マレーシアへ渡航可能になった。(アフターコロナの渡航費高騰やワクチン接種への対応の煩雑が減少した。) サバ州から実行委員会を設営して新方式について打ち合わせ。

ペナン州は、もう一度送って・・・10月以降に渡航。他は検討中。

国内では、マレーシアの作品展覧会を多様な形態で実施予定。多文化共生を学ぶ学習会は地道に継続予定。

コミュニティスクール朝霞第六小学校6年生授業に協力。

みんな集合！音楽で一日楽しく遊ぼう！ 第17回

12月24日(日) 午後

ゆめばれす リハーサル室

有観客でアイデアを実現の会場に！

ご寄付者名

(1月から4月15日まで)

※順不同 敬称略です

(株) タック 広重ウタ子 山田今子 五島さとみ 押田恭子 今井 明 荒木明月 鈴木敬子 山里秀則 橋詰 裕 尾池敏之 鷹野早智子 尾池富美子

匿名希望：3名

ありがとうございます。

物品提供された方

切手：荒木明月 山田今子

尾池敏之

端布：長谷川宣子 小波本笑子 須貝純子

毛糸：高藤貞代 五島さとみ

椅子：匿名 着物：小波本笑子

使用済み切手：多くの方が提供



1月

- 1月12日 介護者サロン「ほっとの会」
- 1月21日 市民活動まつり拡大実行委員会
- 1月24日 あさかいいききネットワーク定例会
- 1月27日 朝霞コミュニティ協議会40周年記念講演会
- 1月30日 市民活動まつり実行委員会

2月

- 2月9日 介護者サロン「ほっとの会」
- 2月10日 市民活動まつり設営
- 11日 市民活動まつり
- 2月16日 朝霞の高齢者福祉を考えるワークショップ
- 2月17日 朝霞市人権講座
- 2月28日 あさかいいききネットワーク定例会

3月

- 3月6日 朝霞コミュニティ協議会常任理事会
- 3月8日 コミュニティスクール学校運営協議会委員研修会
- 3月9日 介護者サロン「ほっとの会」
- 3月12日 朝霞コミュニティ協議会黒目川掃除
- 3月14日 埼玉県社会福祉協議会理事会(ZOOM)
- 3月19日 ケアラー支援条例制定の成果と期待される効果 ZOOM
- 3月22日 朝霞第六小学校卒業式
- 3月27日 埼玉県共助社会づくり助成金報告会 ZOOM
- 3月28日 あさかいいききネットワーク定例会

4月

- 4月11日 朝霞第六小学校入学式
- 4月13日 介護者サロン「ほっとの会」
- 4月20日 朝霞コミュニティ協議会常任理事会

-
- 4月24日 彩夏祭朝霞班委員会
- 4月25日 あさかいいききネットワーク定例会

あとがき

長年取り組んできた「生涯学習」という運営コンセプトは、幣法人の活動の全てに関与している。専門分野で違和感を抱かれることも多かったが、世の中の流れが変化して、人生100歳への向き合い方に個性発揮者が増えだしている。運営の基盤整備に努力して共に学びながら自らの夢も・・・(尾池)

社会福祉協議会へ協力

① 赤い羽根

卓上募金箱設置
(通年)

② 使用済み切手

略、毎月お届け

世代間交流 もの作り体験教室



3月5日(日) 朝霞いきいきネットワーク主催の恒例の行事が3年ぶりに実現。いつも3種類のプログラムで参加して小学生に教えて楽しんできたが、アフターコロナ対策で、ブース数を減らした。マルチ布袋づくりととんぼごまづくりで賑わった。

会員・寄付者・ボランティア募集

NPO法人の貴重な財産、会員は個人(一般・学生・特別会員) 団体・法人(5,000円/年・30,000円/年)

ご寄付は、認定取得法人ですので税額控除対象になります。法人は雑損別枠扱いです。ご協力お願いいたします。